



ONTAP Select Deploy

ONTAP Select

NetApp
January 29, 2026

目次

ONTAP Select Deploy	1
ONTAP Select Deploy の一般的な要件と計画	1
DeployユーティリティとONTAP Selectクラスタのペアリング	1
KVM環境に関する要件	1
必要な構成情報	2
オプションのネットワーク構成情報	2
資格情報ストアを使用した認証	3
ONTAP Select Deployハイパーバイザーホストの考慮事項	3
ハイパーバイザーに依存しない	3
VMwareハイパーバイザーヘイ ...	4
ONTAP Select Deploy VMware vCenter Server の考慮事項	5

ONTAP Select Deploy

ONTAP Select Deploy の一般的な要件と計画

ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティのインストール計画の一環として考慮する必要がある一般的な要件がいくつかあります。

DeployユーティリティとONTAP Selectクラスタのペアリング

Deploy ユーティリティのインスタンスをONTAP Selectクラスタとペアリングする場合、いくつかのオプションがあります。



すべての導入シナリオにおいて、単一のONTAP Selectクラスタとそのクラスタ内のノードは、Deploy管理ユーティリティの1つのインスタンスでのみ管理できます。1つのクラスタを、Deployユーティリティの2つ以上の異なるインスタンスで管理することはできません。

ONTAP Selectクラスタごとにユーティリティのインスタンスが1つ

各ONTAP Selectクラスタは、Deployユーティリティの専用インスタンスを使用して導入および管理できます。この1対1構成では、ユーティリティとクラスタの各ペアが明確に分離されます。この構成により、高度な分離レベルが実現され、障害ドメインが縮小されます。

複数のONTAP Selectクラスタ用のユーティリティのインスタンス 1 つ

組織内の複数のONTAP Selectクラスタを、Deployユーティリティの単一のインスタンスで導入および管理できます。この1対多構成では、すべての処理データと設定データがDeployユーティリティの同じインスタンスで管理されます。



Deploy ユーティリティの 1 つのインスタンスで、最大 400 個のONTAP Selectノードまたは 100 個のクラスターを管理できます。

KVM環境に関する要件

KVM ハイパーバイザー環境に Deploy 管理ユーティリティをインストールする前に、基本要件を確認し、展開の準備をする必要があります。

展開の要件と制限

KVM 環境にONTAP Select Deploy ユーティリティをインストールする場合は、考慮すべき要件と制限がいくつかあります。

Linux KVMホストサーバーのハードウェア要件

Linux KVMハイパーバイザーホストには、いくつかの最低限のリソース要件を満たす必要があります。ONTAPONTAP Selectを導入するホストが以下の基本要件を満たしていることを確認してください。

- Linux サーバー:
 - ハードウェアとソフトウェアは64ビットである必要があります
 - サーバは、ONTAP Selectノードに定義されているのと同じサポート対象バージョンに準拠する必要があります。

- ・仮想CPU (2)
- ・仮想メモリ (4GB)
- ・ストレージ (40GB)
- ・「ダイナミックホスト構成プロトコル (DHCP) が有効になっています（静的IPアドレスを割り当てることもできます）」

ネットワーク接続

Deploy 仮想マシン ネットワーク インターフェイスが設定されており、管理対象のONTAP Selectホストに接続できることを確認します。

IPバージョン4のサポート

ONTAP Select DeployはIPバージョン4 (IPv4) のみをサポートします。IPバージョン6 (IPv6) はサポートされていません。この制限は、ONTAP Selectに以下の影響を与えます。

- ・デプロイ VM の管理 LIF に IPv4 アドレスを割り当てる必要があります。
- ・Deploy では、ONTAP LIF で IPv6 を使用するように設定されたONTAP Selectノードを作成できません。

必要な構成情報

導入計画の一環として、ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティをインストールする前に、必要な設定情報を決定する必要があります。

デプロイVMの名前

VM に使用する名前。

Linux KVMホストの名前

デプロイ ユーティリティがインストールされている Linux KVM ホスト。

ストレージプールの名前

VM ファイルを保持するストレージ プール (約 40 GB 必要)。

VMのネットワーク

デプロイ VM が接続されているネットワーク。

オプションのネットワーク構成情報

デプロイVMはデフォルトでDHCPを使用して構成されます。ただし、必要に応じてVMのネットワークインターフェースを手動で構成することもできます。

ホスト名

ホストの名前。

ホストのIPアドレス

静的 IPv4 アドレス。

サブネット マスク

VM が属するネットワークに基づくサブネット マスク。

ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイまたはルーター。

プライマリDNSサーバー

プライマリ ドメイン ネーム サーバー。

セカンダリDNSサーバー

セカンダリ ドメイン ネーム サーバー。

検索ドメイン

使用する検索ドメイン。

資格情報ストアを使用した認証

ONTAP Select Deployの認証情報ストアは、アカウント情報を保持するデータベースです。Deployは、クラスタの作成と管理の一環として、このアカウント認証情報を使用してホスト認証を実行します。ONTAP ONTAP Selectの導入計画においては、認証情報ストアの使用方法を理解しておく必要があります。



アカウント情報は、AES 暗号化アルゴリズムと SHA-256 ハッシュ アルゴリズムを使用してデータベースに安全に保存されます。

資格情報の種類

次の種類の資格情報がサポートされています。

- ホストONTAP SelectノードをVMware ESXiに直接導入する際にハイパーバイザーホストを認証するために使用されます。
- vCenter ホストが VMware vCenter によって管理されている場合に、ONTAP Selectノードを ESXi に導入する際に vCenter サーバーを認証するために使用されます。

アクセス

資格情報ストアは、Deploy を使用した通常の管理タスク（ハイパーバイザーホストの追加など）の実行時に内部的にアクセスされます。また、Deploy の Web ユーザーインターフェースと CLI を介して資格情報ストアを直接管理することもできます。

ONTAP Select Deployハイパーバイザーホストの考慮事項

ハイパーバイザーホストに関連して、考慮すべき計画上の問題がいくつかあります。



NetAppサポートからの指示がない限り、ONTAP Select仮想マシンの設定を直接変更しないでください。仮想マシンの設定と変更は、必ずDeploy管理ユーティリティを使用して行ってください。NetAppサポートの支援なしに、NetAppユーティリティを使用せずにONTAP Select仮想マシンに変更を加えると、仮想マシンに障害が発生し、使用できなくなる可能性があります。

ハイパーバイザーに依存しない

ONTAP SelectとONTAP Select Deploy 管理ユーティリティはどちらもハイパーバイザーに依存しません。

次のハイパーバイザーは、ONTAP SelectとONTAP Select Deploy 管理の両方でサポートされています。

- VMware ESXi
- カーネルベースの仮想マシン (KVM)



サポートされているプラットフォームに関する詳細については、ハイパーバイザー固有の計画情報とリリース ノートを参照してください。

ONTAP Selectノードおよび管理ユーティリティ用のハイパーバイザー

Deploy管理ユーティリティとONTAP Selectノードはどちらも仮想マシンとして動作します。Deployユーティリティ用に選択するハイパーバイザーは、ONTAP Selectノード用に選択するハイパーバイザーとは独立しています。この2つを組み合わせる際には、以下の柔軟性が確保されています。

- VMware ESXi上で実行されるデプロイユーティリティは、VMware ESXiまたはKVM上でONTAP Selectクラスタを作成および管理できます。
- KVM上で実行される導入ユーティリティは、VMware ESXiまたはKVM上でONTAP Selectクラスタを作成および管理できます。

ホストごとに1つ以上のONTAP Selectノードのインスタンス

各ONTAP Selectノードは専用の仮想マシンとして実行されます。同じハイパーバイザーホスト上に複数のノードを作成できますが、以下の制限があります。

- 単一のONTAP Selectクラスタの複数のノードを同じホスト上で実行することはできません。特定のホスト上のすべてのノードは、異なるONTAP Selectクラスタに属している必要があります。
- 外部ストレージを使用する必要があります。
- ソフトウェア RAID を使用する場合、ホストに導入できるONTAP Selectノードは1つだけです。

クラスタ内でのノードのハイパーバイザーの一貫性

ONTAP Selectクラスタ内のすべてのホストは、同じバージョンおよびリリースのハイパーバイザ ソフトウェアで実行する必要があります。

各ホストの物理ポートの数

各ホストは、1つ、2つ、または4つの物理ポートを使用するように設定する必要があります。ネットワークポートの設定は柔軟に行うことができますが、可能な限り以下の推奨事項に従ってください。

- 単一ノード クラスター内のホストには2つの物理ポートが必要です。
- マルチノードクラスタ内での各ホストには4つの物理ポートが必要です

ONTAP SelectをONTAPハードウェアベースのクラスタと統合する

ONTAP SelectノードをONTAPハードウェアベースクラスタに直接追加することはできません。ただし、オプションでONTAP SelectクラスタとハードウェアベースONTAPクラスタの間にクラスタピア関係を確立することは可能です。

VMwareハイパーバイザー環境

ONTAP Select Deploy ユーティリティを VMware 環境にインストールする前に考慮する必要がある、VMware 環境に固有の要件と制限がいくつかあります。

ESXiホストサーバーのハードウェア要件

ESXiハイパーバイザーホストには、いくつかの最低限のリソース要件を満たす必要があります。ONTAPONTAP Selectを導入するホストが、以下の基本要件を満たしていることを確認する必要があります。

- ESXi サーバー:
 - ハードウェアとソフトウェアは64ビットである必要があります
 - ONTAP Selectノードに定義されているのと同じサポートバージョンに準拠する必要があります
- 仮想CPU (2)
- 仮想メモリ (4 GB)
- ストレージ (40 GB)
- DHCP 対応 (静的 IP アドレスの割り当て可能)

ネットワーク接続

ONTAP Select Deploy仮想マシンのネットワークインターフェイスが設定され、単一の管理IPアドレスが割り当てられていることを確認する必要があります。DHCPを使用してIPアドレスを動的に割り当てるごと、手動で静的IPアドレスを設定することもできます。

導入時の決定に応じて、Deploy VM は管理対象の vCenter Server、ESXi ハイパーバイザーホスト、およびONTAP Selectノードに接続できる必要があります。必要なトラフィックを許可するようにファイアウォールを設定する必要があります。

Deploy は、VMware VIX API を使用して vCenter Server および ESXi ホストと通信します。最初に、TCP ポート 443 で SOAP over SSL を使用して接続を確立します。その後、ポート 902 で SSL を使用して接続が開かれます。さらに、Deploy は PING コマンドを発行して、指定した IP アドレスに ESXi ホストが存在するかどうかを確認します。

Deploy は、次のプロトコルを使用してONTAP Selectノードおよびクラスタ管理 IP アドレスと通信できる必要があります。

- PINGコマンド (ICMP)
- SSH (ポート22)
- SSL (ポート443)

IPバージョン4のサポート

ONTAP Select DeployはIPバージョン4（IPv4）のみをサポートします。IPバージョン6（IPv6）はサポートされていません。この制限は、ONTAP Selectに以下の影響を与えます。

- Deploy 仮想マシンの管理 LIF に IPv4 アドレスを割り当てる必要があります。
- Deploy では、ONTAP LIF で IPv6 を使用するように設定されたONTAP Selectノードを作成できません。

ONTAP Select Deploy VMware vCenter Server の考慮事項

ESA の VMware vSphere 権限

以下は、vCenter で vSAN Express Storage Architecture (ESA) を作成および管理するために必要な vSphere コンテンツ ライブラリの特定の権限の一覧です。

- ・ライブラリアイテムを追加
- ・ローカルライブラリを作成する
- ・ライブラリアイテムを削除
- ・ローカルライブラリを削除する
- ・ストレージの読み取り
- ・ファイルの更新
- ・ライブラリを更新
- ・ライブラリアイテムを更新
- ・ローカルライブラリを更新する

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。